

第14回 くまもと未来会議

—世界から選ばれる熊本を目指して—

日時：平成27年11月27日（金）午後3時～午後5時

場所：ホテル熊本テルサ 3階 たい樹

【開催趣旨】

熊本県では、平成27年10月に「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、今後「活力と雇用を創る」取り組みや「世界の中で輝く」取り組みなどを進めていきます。

台湾・香港との定期便就航や世界遺産登録、国際的なスポーツ大会の開催などを契機として、今後、国際市場で熊本の存在感を高め、将来の活力につなげていくためには何が求められるのか。日本を代表する方々に次の観点から議論をいただき、熊本の可能性や発展のヒントを得たいと考えています。

（観点）

1. 農業の振興、特に農産物や加工品のブランド力の向上・海外への販路拡大や認知度向上について
2. 企業誘致、新たな産業の創出について
3. 空港や港を活用した観光の振興、熊本の更なる拠点性向上について
4. 留学生の派遣や積極的受入れなど、国際的な人材育成・人的支援について

◆プログラム

午後3時～ 開会・議長あいさつ
パネルディスカッション

午後5時 閉会



委員紹介

(50音順)



金本 良嗣（かねもと よしつぐ）委員 電力広域的運営推進機関 理事長

東京大学経済学部卒業。1980年コーネル大学Ph. D. を取得。専門分野は、都市経済学、公共経済学、交通経済学。ブリティッシュ・コロンビア大学助教授、筑波大学助教授、東京大学大学院経済学研究科教授、東京大学公共政策大学院教授、院長、政策研究大学院教授、副学長などを経て2015年4月より電力広域的運営推進機関理事長。国土交通省の社会資本整備審議会の委員（部会長）も務める。



亀崎 英敏（かめざき ひでとし）委員 三菱商事株式会社 常勤顧問

横浜国立大学経済学部卒業。ハーバードビジネススクールAMP修了。1966年三菱商事(株)入社。東ベルリン（駐在員首席）、ニューヨーク（現地法人副社長）、台北（現地法人社長）などを経て、2005年より代表取締役副社長。2007年から2012年まで日本銀行審議委員。2012年4月より三菱商事(株)常勤顧問。2012年5月、APECビジネス諮問委員会日本委員に任命され、2013年は地域経済統合作業部会副部会長、2014年はインフラ・連結作業部会の筆頭副部会長、2015年はコネクティブ部会副部会長を務める。



小長 啓一（こなが けいいち）委員 一般財団法人産業人材研修センター理事長

岡山大学法文学部卒業。1953年通商産業省入省。1971年通商産業大臣秘書官、1972年総理大臣秘書官などを経て、1984年通商産業事務次官。1989年アラビア石油(株)副社長、1991年取締役社長、2003年から2004年まで取締役会長。2005年一般財団法人経済産業調査会会長。2007年に弁護士登録。2008年より財団法人麻布研修センター（現一般財団法人産業人材研修センター）理事長を務める。